

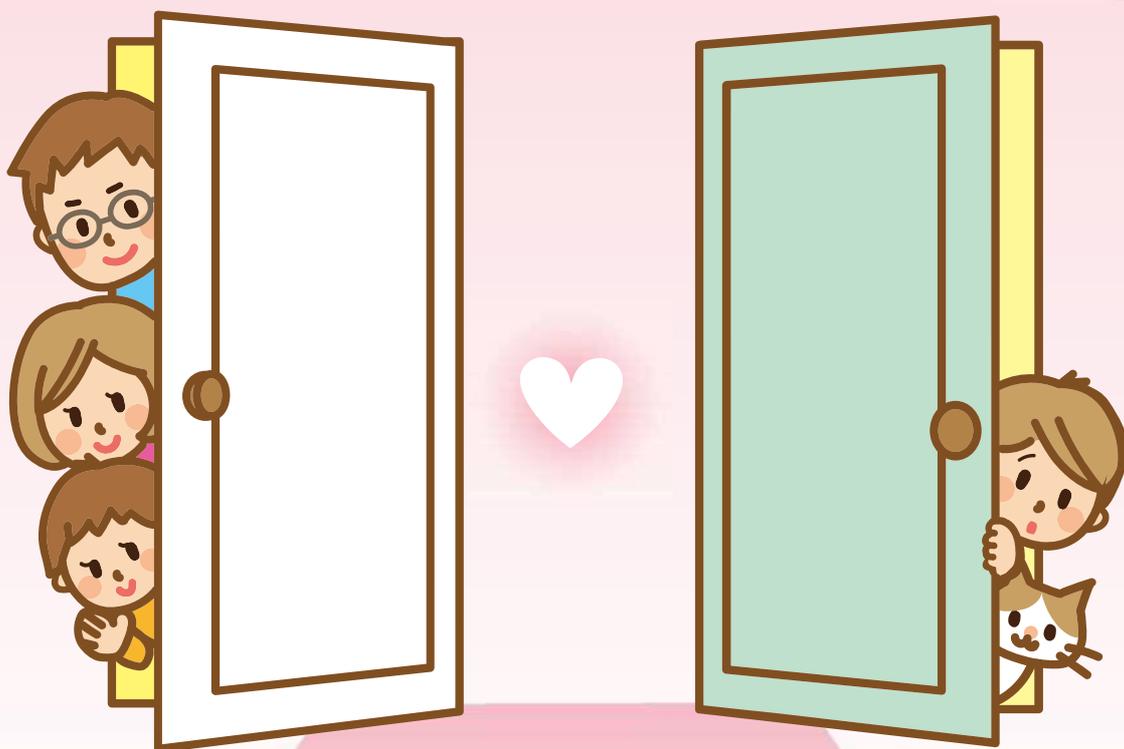
（市民公開講座）

だれもが孤立しない 地域づくり

～ひきこもり支援 生きづらさを
抱えた人の心に寄り添う～

参加
無料

定員300名
※事前申込制
申込締切10/6(金)



人との関係で傷つき、心が折れそうになった経験は、誰しもあると思います。
誰からも理解されない環境では、孤独になり、自己否定が止まらなくなります。
氷のように凍ってしまった心は、温かい心でしか溶けません。
誰もがサポーターになれるように、そんな地域づくりを目指しています。

参加申込はこちらから

2023年 **10月21日(土)**
13時～17時30分(開場12時30分)



共催／山口大学・宇部市

後援／山口県／山口県警察本部／宇部市教育委員会／(公社)山口県看護協会／(福)山口県社会福祉協議会／山口県老人福祉施設協議会／(福)宇部市社会福祉協議会／
(一社)日本精神科看護協会／(一社)山口県介護支援専門員協会／(一社)宇部市医師会／(一社)宇部歯科医師会／(一社)宇部薬剤師会／山口県精神保健福祉士協会／
宇部市障害者ケア協議会／(特非)KHJ全国ひきこもり家族会連合会／朝日新聞社／毎日新聞社／山口新聞社／(株)宇部日報社／yab山口朝日放送／KRY山口放送／
tv5テレビ山口／(株)FMきらら／山口ケーブルビジョン

だれもが 孤立しない 地域づくり

ひきこもり支援 生きづらさを抱えた
人の心に寄り添う



宇部市と山口大学は、誰一人として孤立することのない地域づくりに取り組んでいます。
誰もがなりうる“ひきこもり”の正しい知識を得ることで、さまざまな生きづらさを抱えている人が、その人らしく生きていける地域共生社会を目指します。

SDS(Social Distancing Syndrome) : 社会的距離症候群
(定義) SDSとは、さまざまな要因によって、社会や人と一時的に距離を取った結果、徐々に社会とのつながりがなくなり、家族以外の人、または家族とのコミュニケーションの機会が減ってしまった現象概念である。
さらに、この状態が長期化することによって自尊感情が低下し、社会参加が難しくなる。

<プログラム>

12:30 受付・開場

※興味のあるプログラムだけの参加も歓迎します

13:00 開会行事

13:15 講演 1

「ひきこもり支援施策の動向と市町村への期待
～身近な地域における支援体制の構築に向けて～」



松浦 拓郎

厚生労働省
社会・援護局
地域福祉課 ひきこもり支援専門官

14:15 講演 2

「市を中心とした支援体制の取り組みについて」



山根 俊恵

山口大学 医学部
SDS 支援システム開発講座 教授

15:00 基調講演

「ひきこもり本人や家族を救える支援とは」



池上 正樹

ジャーナリスト
KHJ 全国ひきこもり家族会連合会副理事長

16:30 パネルディスカッション

「ひきこもり経験者・家族が求める支援」 ひきこもり経験者・家族

17:30 閉会行事

駐車場のご案内

お車で越しの方は、附属病院外来棟横の立体駐車場をご利用ください。
駐車券を会場受付までお持ちください。
無料となります。

会場のご案内



ご来場のみなさまへ

新型コロナウイルス等の感染状況により、参加対象者の皆様に感染防止対策をお願いする場合がございます。
当日会場にてご案内しますので、ご協力をお願いいたします。

お問合せ

山口大学医学部

SDS支援システム開発講座

E-mail:sdsshakai@yamaguchi-u.ac.jp

宇部市障害福祉課

電話: 34-8522 FAX: 22-6052

日付 **2023年 10月21日(土)**

時間 **13時～17時30分(開場12時30分)**

会場 **山口大学医学部附属病院
A棟 1階オーディトリウム**

〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1

定員 **300名(申込先着順)**

参加対象 **宇部市居住者または宇部市在勤・在学者**

申込方法 **この講座は事前申込制です。**

原則としてQRコードからお申込みください。

QRコードからのお申し込みが難しい方は、
宇部市障害福祉課にご相談ください。

※参加申込はこちらから/



申込締切/10月6日(金)まで